《交流分析研究編集委員会》

編集委員長 小澤 真 聖徳大学心理・福祉学部心理学科

副編集委員長 鈴木 佳子 青山メンタルヘルス/主婦会館カウンセリング室

編集委員 篠﨑 信之 東洋大学文学部教育学科

(五十音順) 柴山 修 横浜労災病院心療内科

甚五 和也 くじらホスピタル

山北 高志 藤田医科大学皮膚科学

吉原 一文 九州大学キャンパスライフ・健康支援センター健康科学部門

編集後記

江花昭一先生の巻頭言では、横の広がりと歴史という縦軸の展開を踏まえたうえで、日本の交流分析(TA)の課題を示していただいたと思います。特集1は、第49回学術大会でのErskine博士の基調講演の様子です。博士の個人的経歴や理論的背景がわかりやすく示されており、ご準備くださった室城隆之先生に深く感謝いたします。特集2では昨年秋の中央研修会の内容を、江花昭一先生、鈴木佳子先生にご寄稿いただきました。私はこの研修会に参加し、多くのことを学びました。本稿により、同様に学びを深められる先生方も多いと思います。小川邦治先生らが原著論文で報告された〈人生の立場〉尺度は、研究と臨床の新しいツールになると期待され、今後の発展が楽しみです。本号最後の資料は、本誌の第1巻(1976年)から第24巻(1999年)までの掲載論文のリストです(第25巻以降については次号掲載予定)。日本の交流分析(TA)の研究の流れを一望するのに大変役立つ資料になると思います。(篠﨑信之)

■投稿規定

- 1) 本誌への投稿は、日本交流分析学会会員を筆頭著者および責任著者とする論文に限り受け付けます。他誌に掲載された論文の投稿はご遠慮ください。交流分析およびその近接領域に関係した未公刊の原著論文、資料、意見、実践報告、書評、ならびに総会のための資料、記録、その他を掲載します。ただし、理事会もしくは、編集委員会決定により、会員外の著者に投稿を依頼することができます。論文の採否、掲載順などは、査読を経て、編集委員会が決定します。
- 2) 論文投稿は、本学会のホームページに載っている「倫理要網ならびに運用細則」に則るものであることを要します。 症例報告を含む場合、個人の人権とプライバシーの保護を遵守し、倫理的配慮を行ったことに言及してください。 また論文の執筆者全員は、投稿論文内容に関して利益相反のある金銭上あるいは私的な関係すべてを明らかにす る必要があります。申告すべき内容がない場合は、論文の末尾に「利益相反自己申告:申告すべきものなし」と 記載し、申告すべき内容がある場合には、××は○○株式会社から資金援助を受けている(社員である・顧問で ある)のように記載してください。
- 3) 原稿は A4 判横書き 40 字×30 行, 各行に行番号が入るよう設定して執筆してください。外国の人名, 薬品名は原語、 術語は邦語を用い、必要なら() 内に原語を入れてください。図表は本文とは別個に、1点につき1枚ずつ作成 してください。原著論文は、序論(緒言・はじめに)から開始し、方法・結果・考察が含まれることを確認して ください。原著論文、資料、意見は10,000 字以内、書評、実践報告は4,000 字以内を論文の長さの目安とします。
- 4) 文献は本文の終りにまとめて番号をつけ、これを本文中に引用するときは、1)、2) のようにしてください。文献 は必要な最小限度とし、著者名、題名、誌名、巻数、頁 (初めと終わり)、発行年次、単行本のときは著者名、書名、 発行所名、発行地 (外国のみ)、発行年次を記載してください。雑誌名の記載に際しては、和·欧いずれの場合でも、 略さず正式名を用いてください。
- 5) 投稿に際しては、本文および図表(各1部)に、指定書式による投稿票・著者票を添付してください。投稿票・ 著者票は本学会のホームページからダウンロードしてださい。
- 6) なるべく多くの論文を収録するために、当分の間以下のごとく掲載料を定めます。本誌 10 頁までは無料、それを 超えるときは1頁につき 5,000 円、また図表、アート、写真などで製版、用紙、印刷にとくべつの費用を要すると きは、実費を投稿者の負担とします。
- 7) 本誌に掲載された著作物の著作権は、本学会に帰属します。
- 8) 電子メールにより投稿される場合は、PDFファイルまたはWordファイルの原稿を添付し、株式会社金子書房内『交流分析研究』投稿論文受付係(koryu@kanekoshobo.co.jp)に送信してください。

郵送により投稿される場合は、〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6 株式会社金子書房内『交流分析研究』投稿 論文受付係宛(TEL 03-3941-0113. FAX 03-3941-0163) に送付してください。